



株式会社ベルーナ 2026年3月期 決算説明会資料

証券コード：東証プライム 9997
2026.6.5

1. 決算ハイライト	P.2
2. 今期計画について	P.9
3. 第6次短期経営計画の進捗状況について	P.11
4. 各事業について	P.14
5. 参考資料	P.31

1. 決算ハイライト

BELLUNA

1-1. 決算総括

BELLUNA

単位：億円

連結	25/3期	26/3期	26/3期		
	実績	予算	実績	前年比	予算比
売上高	2,108.5	2,146.0	2,180.9	+3.4%	+1.6%
売上原価	816.0	-	808.8	-0.9%	-
販売管理費	1,173.6	-	1,207.3	+2.9%	-
営業利益	118.8	135.0	164.7	+38.6%	+22.1%
営業外損益	13.6	0.0	-2.0	-	-
(内、為替関連損益)	(9.0)	-	(11.7)	+29.1%	-
経常利益	132.5	135.0	162.7	+22.8%	+20.5%
当期純利益	87.9	95.0	115.4	+31.2%	+21.5%

1-2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 : プロパティ・ホテル、グルメ、その他、データベース活用の4セグメントが増収
営業利益 : プロパティ・ホテル、化粧品健康食品、グルメ、ナース関連、呉服関連、
アパレル・雑貨、その他の7セグメントが増益

■プロパティ・ホテル事業は、国内旅行需要の高まりや訪日外客数が増加したことなどにより大幅な増収増益となった。国内都市型ホテルは、すべてのホテルが増収増益となり、特に本格稼働となった札幌ホテル by グランベル、万博が開催された大阪エリアのホテルの稼働率、客室単価が大幅に上昇した。

なお、訪日中国人観光客の減少による影響は限定的であった。国内リゾート型ホテルにおいては、2025年10月に取得したホテル瑞鳳、秋保グランドホテルの寄与もあり、増収増益。また、販売用不動産の売却益10.5億円を計上した。

■アパレル・雑貨事業は、原材料・資材価格の高止まりを受け仕入原価が上昇する中、DM配送費の値上げも受けたため、収益性を重視し紙媒体の発行数量を減らすなど広告宣伝費の抑制を図った。不採算事業であったファッションECモール、インポートブランド品ECサイトのサービスを終了したことで減収となったが、収益性は大幅に改善した。

セグメント別売上高と営業利益

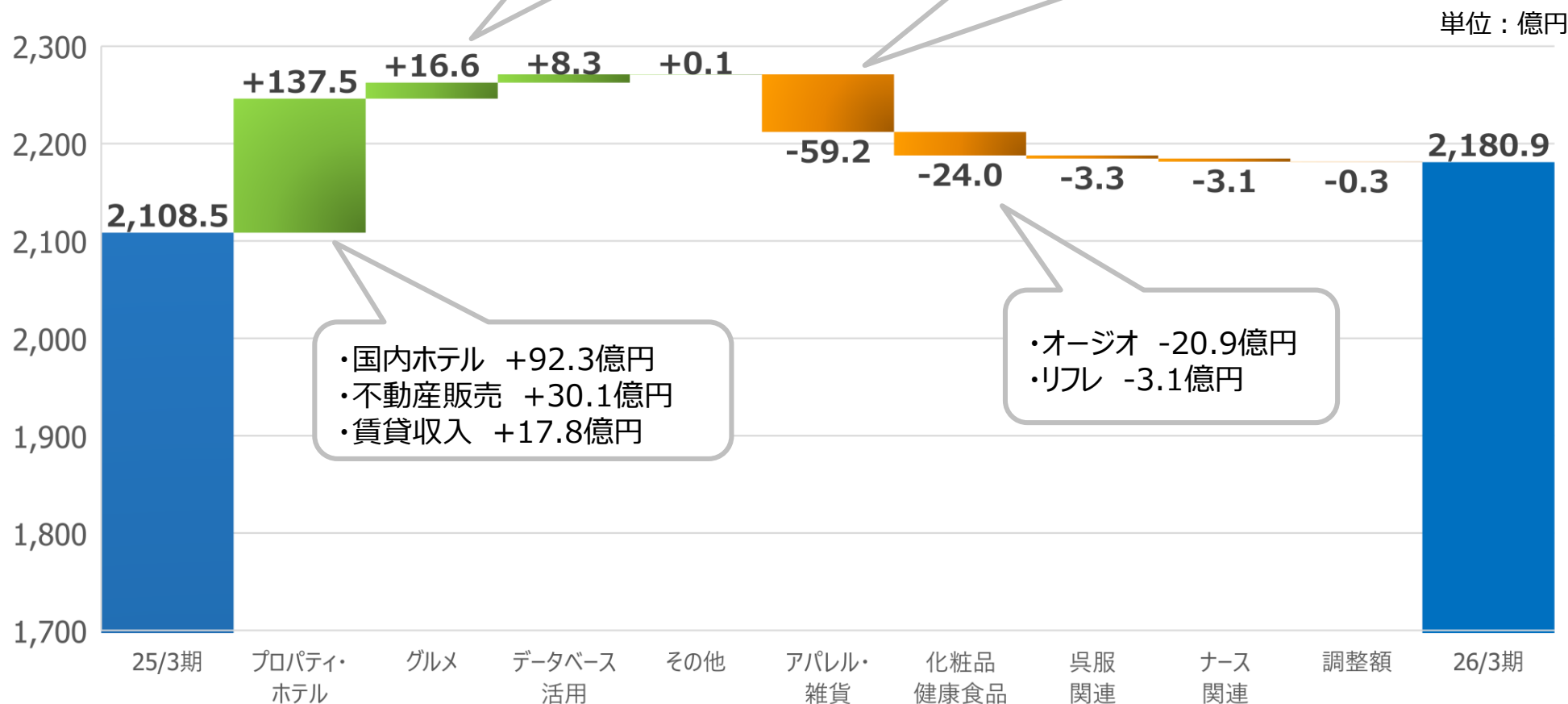
単位：億円

	26/3期												
	グロース領域						サステナブル領域				データ ベース 活用	調整	計
	プロパティ・ ホテル	専門通販				小計	呉服 関連	アパレル・ 雑貨	その他	小計			
		化粧品 健康食品	グルメ	ナース 関連	小計								
売上高	497.0	114.3	337.3	123.0	574.8	1,071.8	225.6	689.1	28.3	943.1	179.4	-13.4	2,180.9
前年比（％）	+38.3%	-17.4%	+5.2%	-2.5%	-1.8%	+13.4%	-1.5%	-7.9%	+0.4%	-6.2%	+4.9%	-	+3.4%
営業利益	85.5	7.3	13.1	6.5	27.0	112.5	13.7	-4.0	-1.8	7.7	45.1	-0.7	164.7
前年比(億円)	+32.9	+0.1	+0.6	+2.4	+3.2	+36.2	+1.2	+12.8	+2.0	+16.2	- 6.4	- 0.1	+45.9
営業利益率	17.2%	6.4%	3.9%	5.3%	4.7%	10.5%	6.1%	-0.6%	-6.7%	0.8%	25.2%	-	7.6%
前年比(pt)	+2.6	+1.2	- 0.0	+2.1	+0.6	+2.4	+0.6	+1.7	+7.4	+1.7	- 5.0	-	+1.9

1-3. 売上高の増減分析

BELLUNA

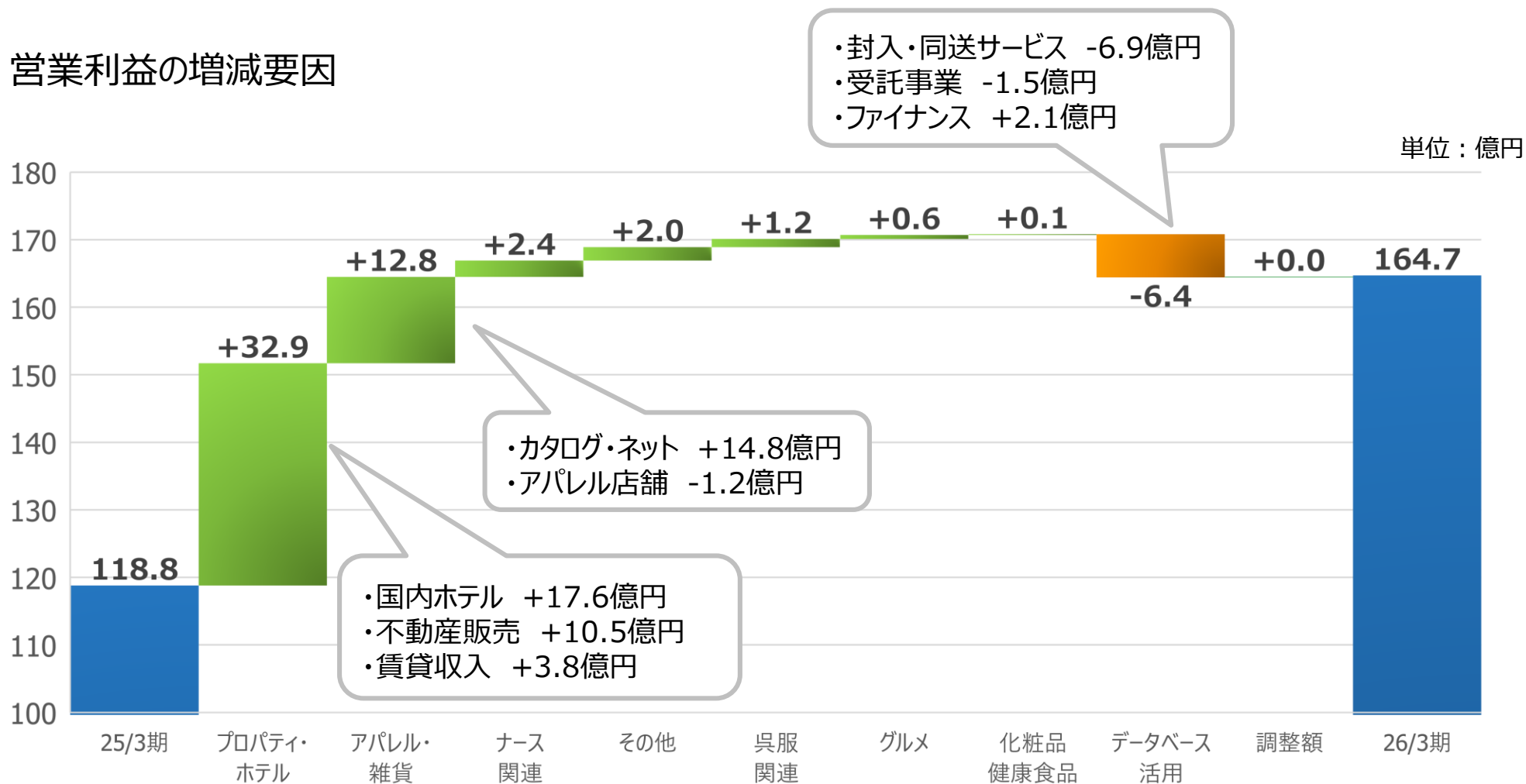
売上高の増減要因



1-4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

営業利益の増減要因



1-5. 連結貸借対照表

BELLUNA

単位：億円

	25/3末	26/3末	増減額
流動資産	1,314.4	1,314.5	+0.1
売掛金	108.5	115.0	+6.4
営業貸付金	344.6	377.5	+32.8
商品	256.6	235.6	- 21.0
販売用不動産	71.8	88.3	+16.5
仕掛販売用不動産	16.9	-	- 16.9
固定資産	1,810.1	2,086.7	+276.6
有形固定資産	1,459.5	1,728.4	+268.8
無形固定資産	118.2	105.6	- 12.5
投資その他の資産	232.4	252.6	+20.2
総資産	3,124.6	3,401.3	+276.7
負債	1,708.0	1,886.8	+178.7
支払手形、買掛金及び電子記録債務	128.6	109.6	- 18.9
短期借入金	248.4	186.5	- 61.9
長期借入金	1,028.5	1,271.7	+243.2
リース債務（長期）	20.7	36.6	+15.8
純資産	1,416.5	1,514.5	+97.9
【自己資本比率】	[45.2%]	[44.5%]	[-0.7P]

1-6. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

単位：億円

	25/3期	26/3期	
	実績	実績	前年比
営業活動によるキャッシュフロー	96.9	184.7	87.8
税金等調整前当期純利益	132.1	166.7	34.6
減価償却費	59.8	73.0	13.3
支払利息	7.8	14.2	6.3
投資有価証券売却損益	-3.6	-11.6	-8.0
固定資産減損損失	1.6	7.0	5.4
営業貸付金の増減	-27.6	-33.0	-5.4
棚卸資産の増減	5.8	20.5	14.7
仕入債務の増減	-33.2	-23.2	10.0
法人税及び住民税（支払額）	-41.9	-49.6	-7.7
投資活動によるキャッシュフロー	-177.9	-322.9	-145.0
有形固定資産の取得による支出	-150.3	-333.1	-182.8
無形固定資産取得による支出	-3.2	-1.8	1.3
投資有価証券の取得支出	-21.5	-19.3	2.2
投資有価証券の売却収入	13.7	27.6	13.9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-18.1	-	18.1
財務活動によるキャッシュフロー	67.2	139.1	71.9
長短借入金の増減	152.2	172.6	20.4
社債の償還支出	-50.2	-0.1	50.1
親会社による配当金の支払額	-23.9	-28.4	-4.5
キャッシュに係る換算差額	3.5	2.6	-0.9
キャッシュ増減	-10.3	3.5	13.8

設備投資*1

358.7億円

減価償却費*2

77.2億円

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む

*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却も含む

2. 今期計画について

BELLUNA

2. 2027年3月期計画

BELLUNA

今期は第6次短期経営計画の2年目。

2028年3月期を最終年度とする3カ年計画を策定しており、1年目（26/3期）目標を達成したことを踏まえ、2年目（27/3期）目標値を上方修正。

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

	27/3期計画												
	グロス領域						サステナブル領域				データ ベース 活用	調整	計
	プロパティ・ ホテル	専門通販			小計	呉服 関連	アパレル・ 雑貨	その他	小計				
		化粧品 健康食品	グルメ	ナース 関連									
売上高	472.0	111.2	321.9	129.5	562.5	1,034.5	226.2	688.0	58.0	972.1	218.0	-14.6	2,210.0
前年比 (%)	-5.0%	-2.8%	-4.6%	+5.2%	-2.1%	-3.5%	+0.2%	-0.2%	+104.2%	+3.1%	+21.5%	+8.9%	+1.3%
営業利益	90.0	4.5	15.0	7.0	26.5	116.5	14.5	-3.0	4.0	15.5	46.0	-3.2	175.0
前年比(億円)	+4.5	- 2.9	+1.8	+0.5	- 0.5	+4.0	+0.7	+1.1	+5.9	+7.7	+0.9	- 2.4	+10.2
営業利益率	19.1%	4.0%	4.7%	5.4%	4.7%	11.3%	6.4%	-0.4%	7.0%	1.6%	21.1%	-	7.9%
前年比(pt)	+1.9	- 2.4	+0.8	+0.1	+0.0	+0.8	+0.3	+0.2	+13.6	+0.8	- 4.0	-	+0.4

3. 第6次短期経営計画の進捗状況について

BELLUNA

3-1. 中期計画について

BELLUNA

Nine・Six・Five and One・Two・Three計画

Nine : プロパティ事業 営業利益90億円

Six : データベース活用事業 営業利益60億円

Five : 専門通販事業 営業利益50億円

One : アパレル・雑貨事業 営業利益20億円

Two : 呉服関連事業 営業利益25億円

Three : その他の事業 営業利益5億円

中期計画として営業利益250億円の達成を目指す。

3-2. 第6次短期経営計画の進捗状況

BELLUNA

第6次短期経営計画（26/3期～28/3期）を前倒し達成

3カ年計画の前倒し達成を踏まえ、2年目（27/3期）目標値を上方修正。

3年目（28/3期）目標については、事業環境の変化や業績進捗を踏まえ、策定中。

単位：億円

		第6次短期経営計画							
		26/3期 計画		26/3期 実績		27/3期 計画		27/3期 修正計画	
		売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
【Nine】プロパティ・ホテル事業	ホテル	390.0	45.9	426.6	57.7	425.9	49.9	444.2	69.4
	インカム・太陽光	19.0	18.3	70.4	27.9	16.5	17.1	27.8	20.6
	プロパティ・ホテル事業 小計	409.0	64.3	497.0	85.5	442.4	67.0	472.0	90.0
【Six】	データベース活用事業	179.2	48.3	179.5	45.1	194.1	50.8	218.0	46.0
【Five】専門通販事業	化粧品・健康食品事業	133.3	7.9	114.4	7.4	149.7	8.9	111.2	4.5
	グルメ事業	344.6	12.7	337.4	13.2	380.5	13.8	321.9	15.0
	ナース関連事業	127.8	5.4	123.0	6.5	131.8	6.4	129.5	7.0
	専門通販事業 小計	605.7	26.1	574.8	27.0	662.0	29.1	562.5	26.5
【One】アパレル・雑貨事業		703.5	-13.3	689.1	-4.1	741.1	-8.0	688.0	-3.0
【Two】呉服関連事業		232.6	13.1	225.6	13.8	247.8	15.0	226.2	14.5
【Three】その他の事業		29.7	-2.8	28.4	-1.9	22.2	-2.9	58.0	4.0
調整		-13.6	-0.6	-13.4	-0.7	-13.6	-0.9	-14.6	-3.2
合計		2,146.0	135.0	2,181.0	164.8	2,296.0	150.0	2,210.0	175.0
ROE		7.0%		7.9%		7.5%		8.5%	

4. 各事業について

BELLUNA

4-1. プロパティ・ホテル事業【Nine（90億円）達成事業】

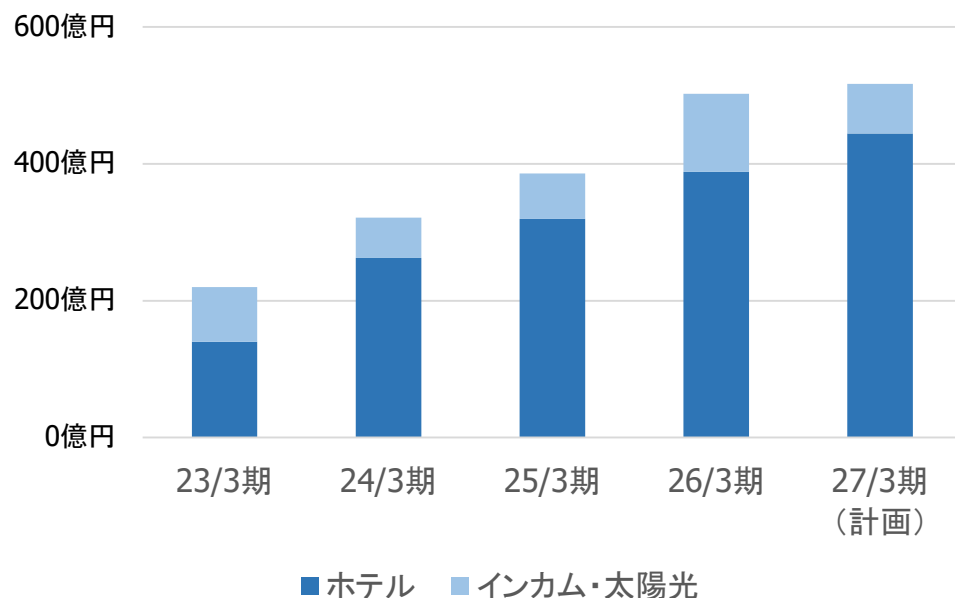
BELLUNA

プロパティ・ホテル事業は、

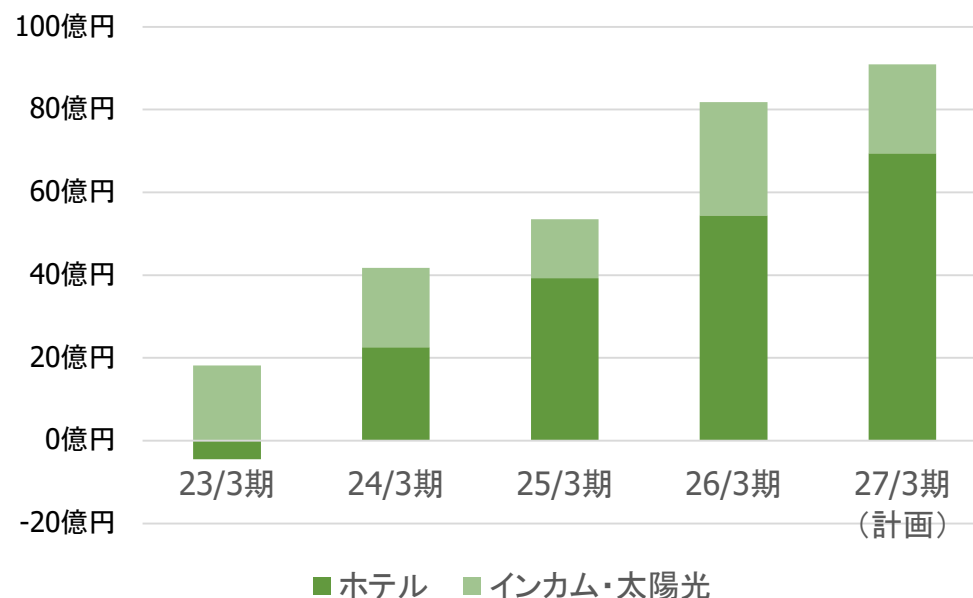
27年3月期で売上高472.0億円（前期比+2.9%）、

営業利益90.0億円（前期比+9.4%）を目指す。

売上高推移



営業利益推移



4-2. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円）達成事業】

BELLUNA

トピックス①

札幌ホテル by グランベル（国内都市型）

2025年3月開業 客室数 605室



4-4. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円） 達成事業】

BELLUNA

トピックス②

ホテル瑞鳳・秋保グランドホテル（国内リゾート型）

2025年10月取得 客室数 ホテル瑞鳳131室 / 秋保グランドホテル140室



ホテル瑞鳳



秋保グランドホテル



温泉



ラウンジ



全天候型屋内温水



桜離宮



温泉



お食事処 陽だまり

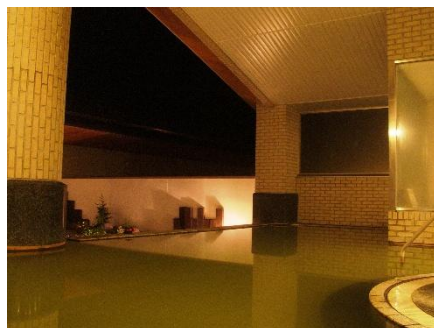
4-3. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円）達成事業】

BELLUNA

トピックス③

屈斜路プリンスホテル（国内リゾート型） 運営委託型

2026年5月取得 客室数 208室



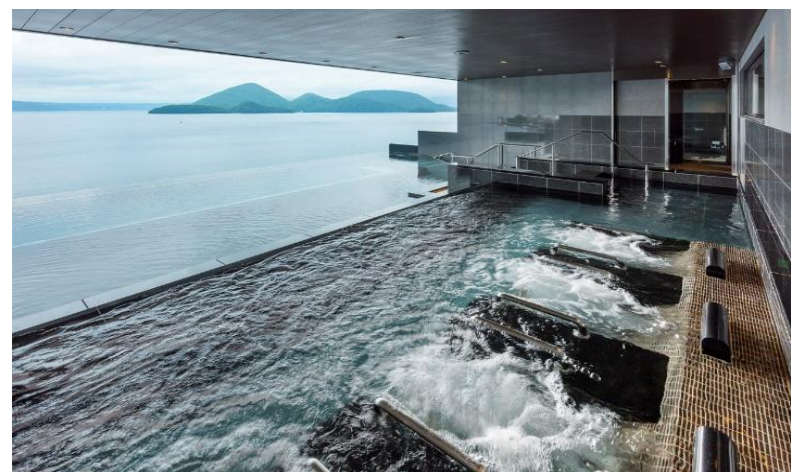
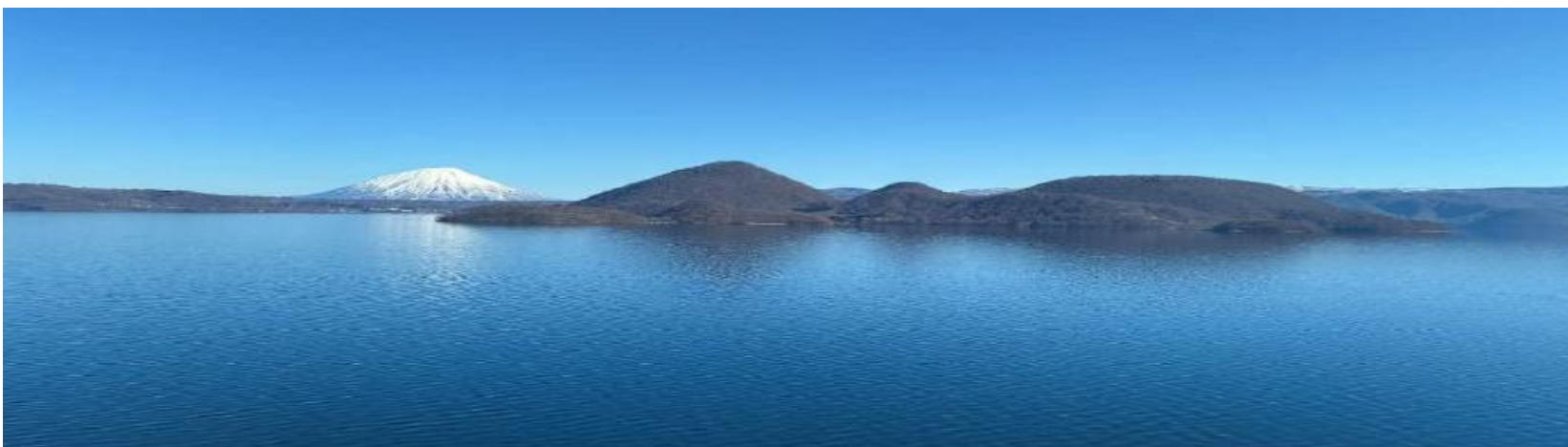
4-4. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円）達成事業】

BELLUNA

トピックス④ 開業予定ホテルの紹介

ザ・レイクスイート湖の栖「別邸 蝦夷富士」（国内リゾート型）

2027年12月開業予定 客室数 61室



4-5. プロパティ・ホテル事業 【Nine（90億円）達成事業】

BELLUNA

今後の構想

- ・既存施設のバリューアップ
- ・都心ホテルの新規展開
- ・海外ホテルの新規展開

競争優位の確立

- ・全員参加型経営
- ・集客の優位性
- ・ローコストオペレーション

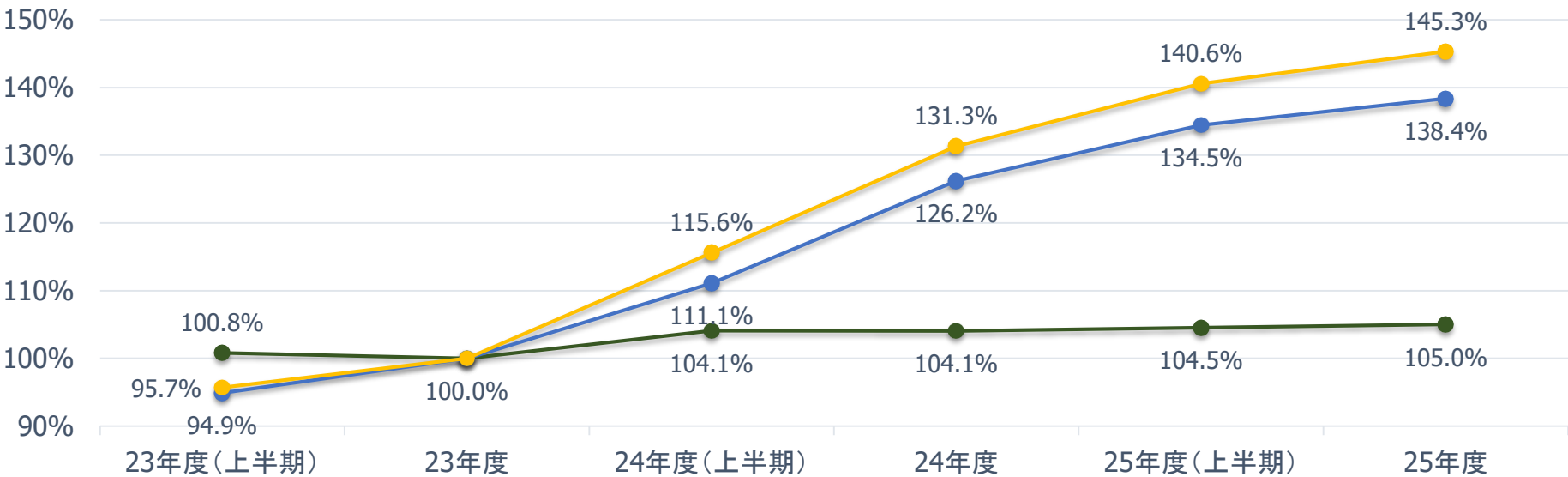
4-6. (参考) 【国内都市型ホテル】客室単価、稼働率、RevPARの月次推移

BELLUNA

国内都市型ホテル

●稼働率 ●客室単価 ●RevPAR

※23年度実績を100%として比較



客室単価 (千円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	稼働率 (%)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	RevPAR (千円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	15.1	17.0	18.2	17.5	17.0	23年度	75.8	82.2	75.7	79.8	78.4	23年度	11.5	14.0	13.8	14.0	13.3
24年度	18.2	19.5	23.8	24.3	21.5	24年度	78.7	84.4	83.3	79.8	81.6	24年度	14.3	16.5	19.8	19.4	17.5
25年度	22.9	22.8	25.8	22.8	23.5	25年度	78.9	85.0	83.1	82.3	82.3	25年度	18.1	19.4	21.5	18.5	19.4
前期対比	+4.7	+3.3	+2.0	-1.5	+2.0	前期対比	+0.2pt	+0.6pt	-0.2pt	+2.5pt	+0.7pt	前期対比	+3.8	+2.9	+1.7	-0.9	+1.9

※同条件対比のため、札幌ホテル by グランベル、札幌ファンゲートホテル、小樽グランベルホテルの実績は含まず

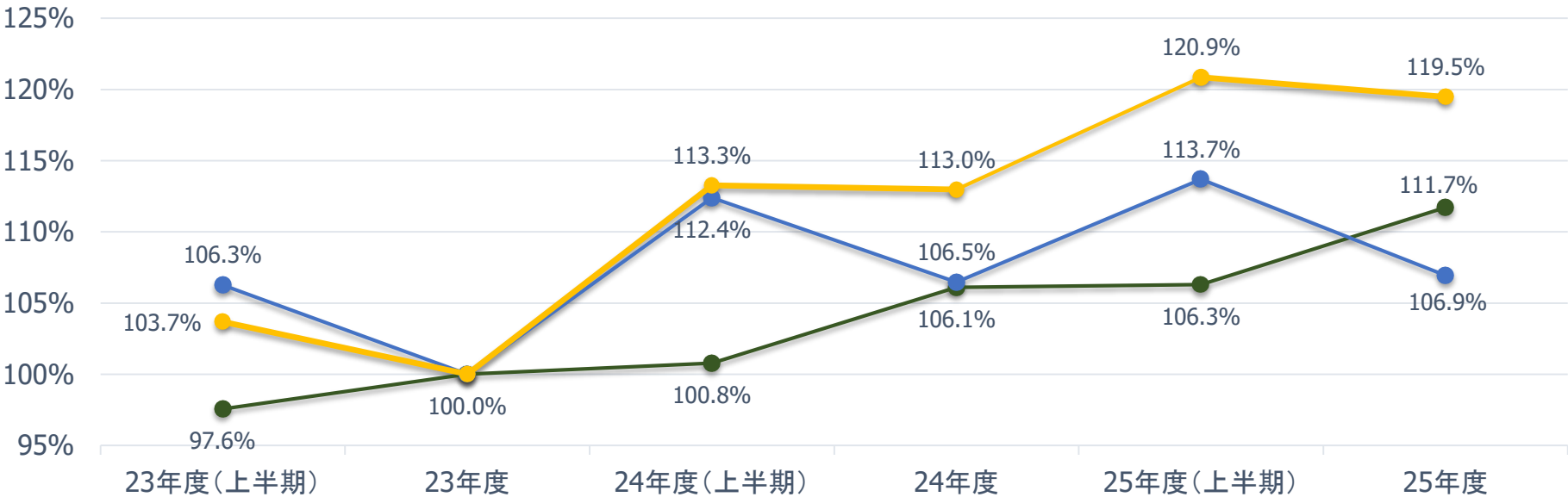
4-7. (参考) 【国内リゾート型ホテル】客室単価、稼働率、RevPARの月次推移

BELLUNA

国内リゾート型ホテル

稼働率 客室単価 RevPAR

※23年度実績を100%として比較



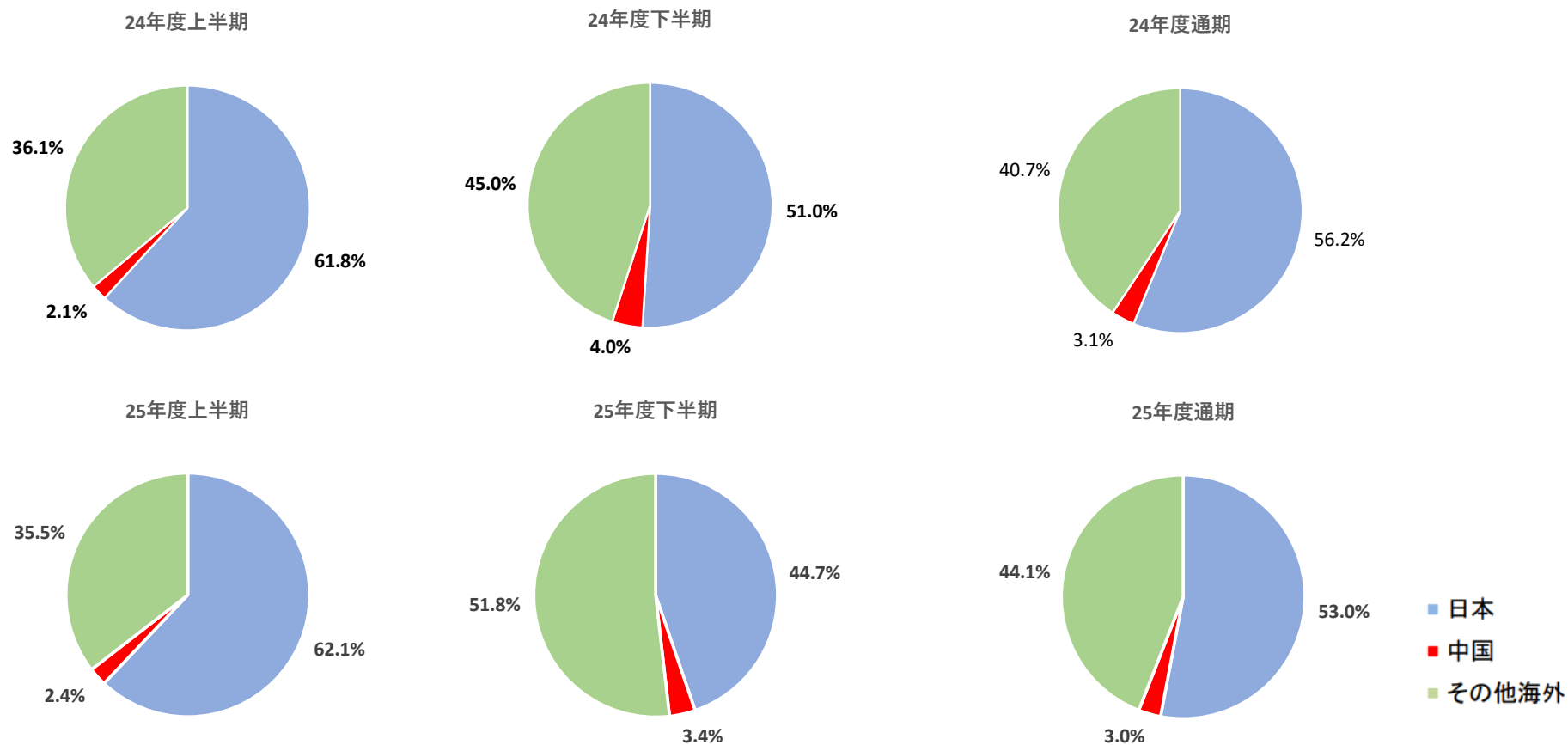
客室単価 (千円)						稼働率 (%)						RevPAR (千円)					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
23年度	35.1	39.7	34.5	32.5	35.6	23年度	47.0	64.6	55.8	61.5	57.2	23年度	16.5	25.7	19.3	20.0	20.3
24年度	36.8	42.2	36.6	35.3	37.9	24年度	48.2	67.1	60.8	67.0	60.7	24年度	17.7	28.3	22.3	23.6	23.0
25年度	36.4	43.7	37.8	34.0	38.1	25年度	54.1	67.5	62.5	71.9	64.9	25年度	19.7	29.5	23.7	24.5	24.3
前期対比	-0.4	+1.5	+1.2	-1.3	+0.2	前期対比	+5.9pt	+0.4pt	+1.7pt	+4.9pt	+4.2pt	前期対比	+2.0	+1.2	+1.4	+0.9	+1.3

※同条件対比のため、ホテル瑞鳳・櫻離宮、秋保グランドホテルの実績は含まず

4-7.（参考）中国人観光客の渡航動向に関するホテル事業への影響

BELLUNA

2025年11月20日にリリースした中国人観光客の渡航動向に関するホテル事業への影響について、25年度下半期も前年比0.6pt減の3.4%と低い水準。中国人観光客の渡航自粛の注意喚起による宿泊需要減少の影響は変わらず限定的である。



※同条件対比のため、既存ホテルの実績にて前年対比

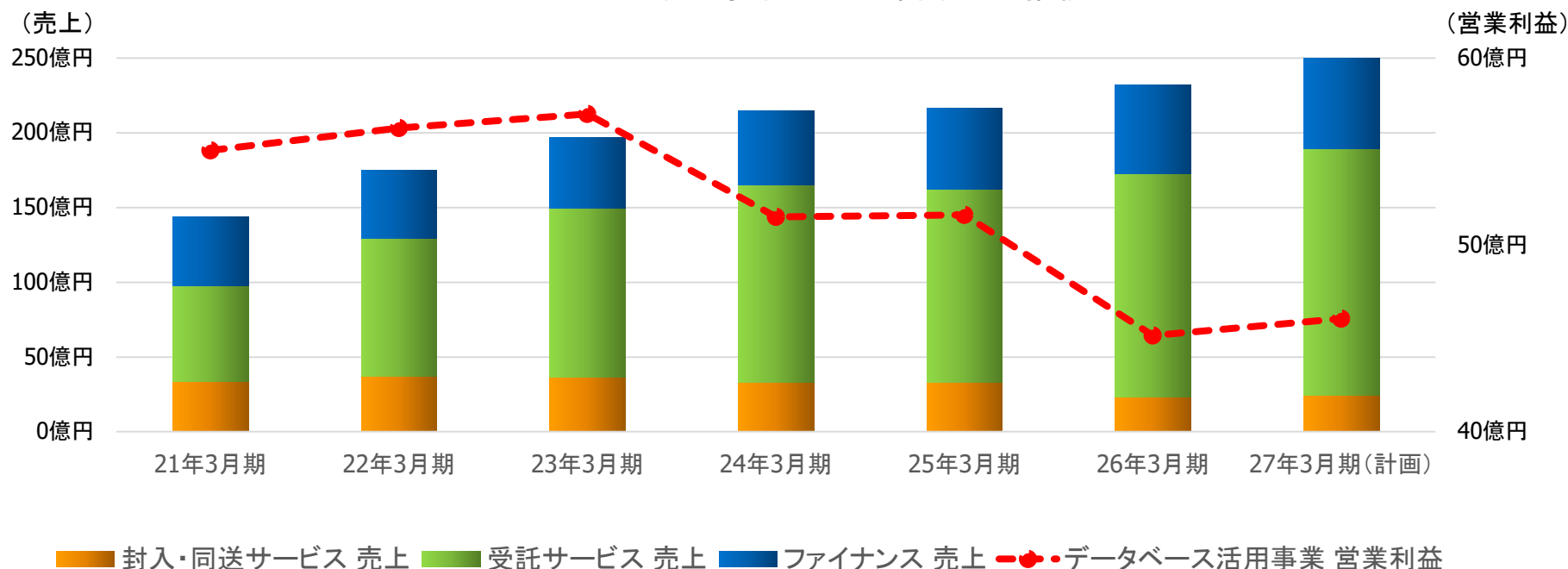
4-8. データベース活用事業 【Six（60億円）達成事業】

BELLUNA

封入・同送サービスは、アパレル・雑貨事業のカタログ発行部数減、商品出荷数減に伴い、苦戦傾向。一方で受託サービス、ファイナンス事業は好調に推移。

中期経営計画として、封入同送サービス16億円、受託サービス10億円、ファイナンス34億円を達成し、Six（60億円）達成を目指す。

データベース活用事業の売上・営業利益推移



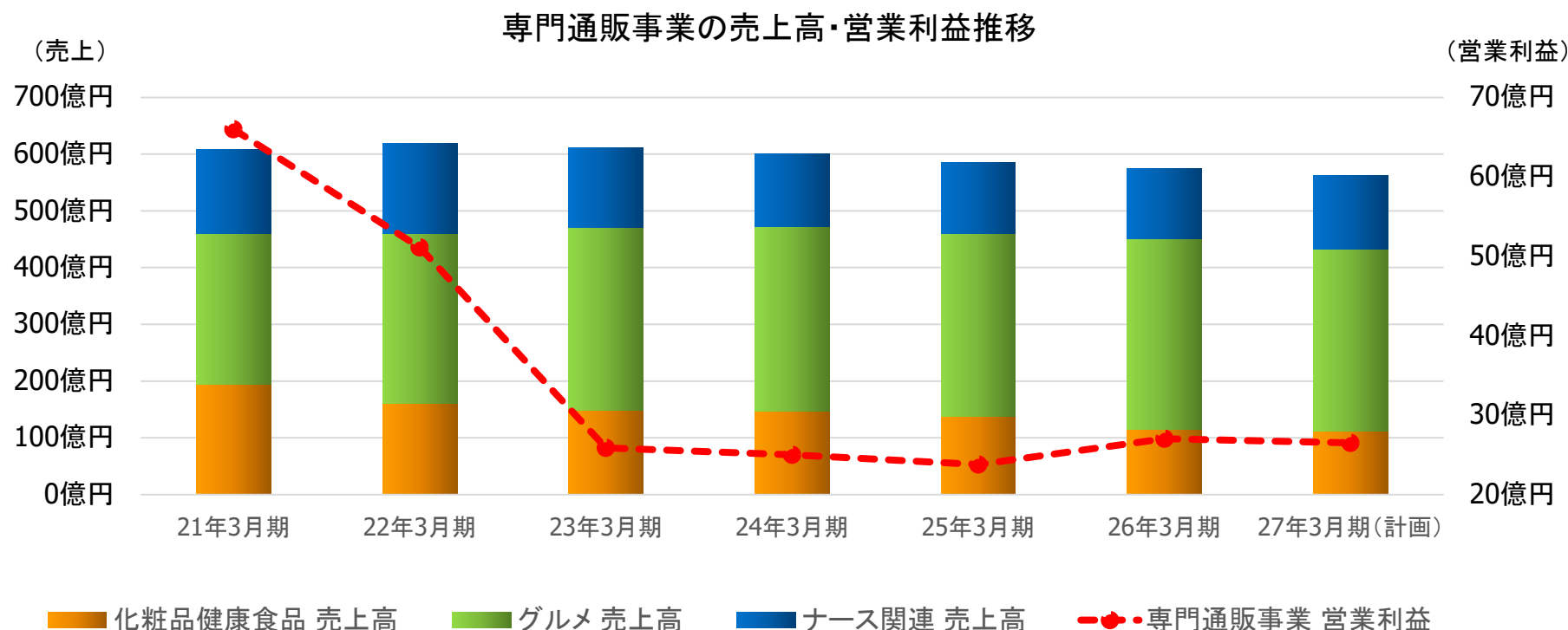
4-9. 専門通販事業【Five（50億円）達成事業】

BELLUNA

専門通販事業（化粧品健康食品、グルメ、ナース関連）は、

27年3月期で売上高562.5億円（前期比-2.1%）、営業利益26.5億円（前期比-1.9%）を計画。

中期経営計画として、化粧品健康食品15億円、グルメ20億円、ワイン5億円、ナース関連10億円を達成し、Five（50億円）達成を目指す。



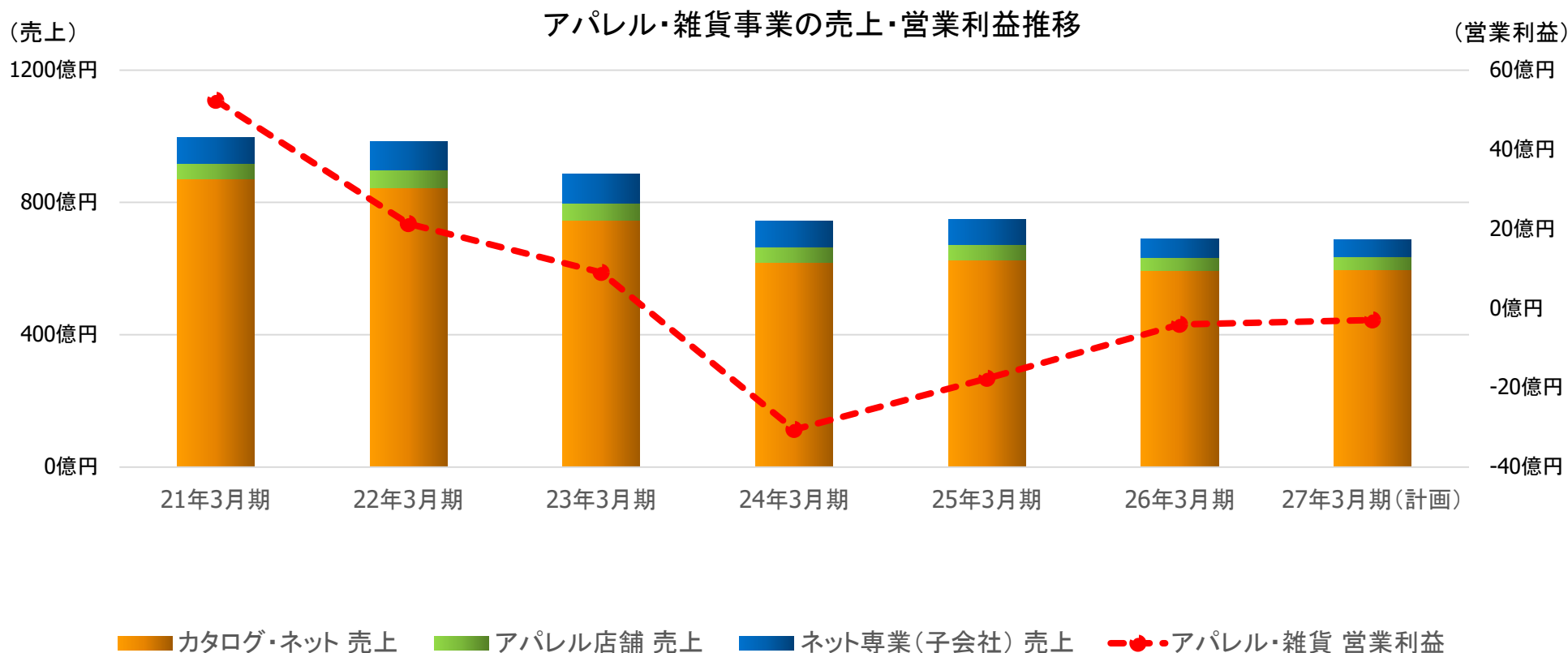
4-10. アパレル・雑貨事業 【One（20億円）達成事業】

BELLUNA

アパレル・雑貨事業は、

27年3月期で売上高688.0億円（前期比▲0.2%）、

営業利益▲3.0億円（前期比+1.1億円の利益改善）を計画



4-11. 呉服関連事業【Two（25億円）達成事業】

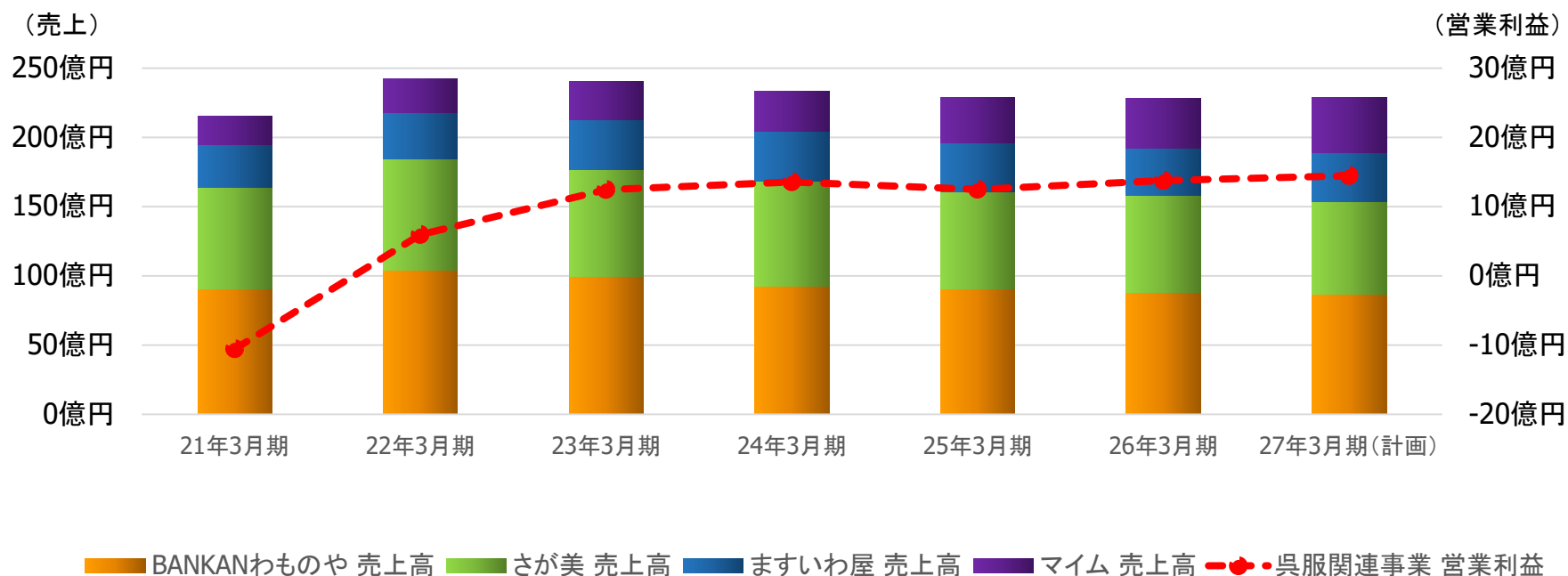
BELLUNA

呉服関連事業は、

27年3月期で売上高226.2億円（前期比+0.2%）、

営業利益14.5億円（前期比+5.1%）を計画

呉服関連事業の売上高・営業利益推移



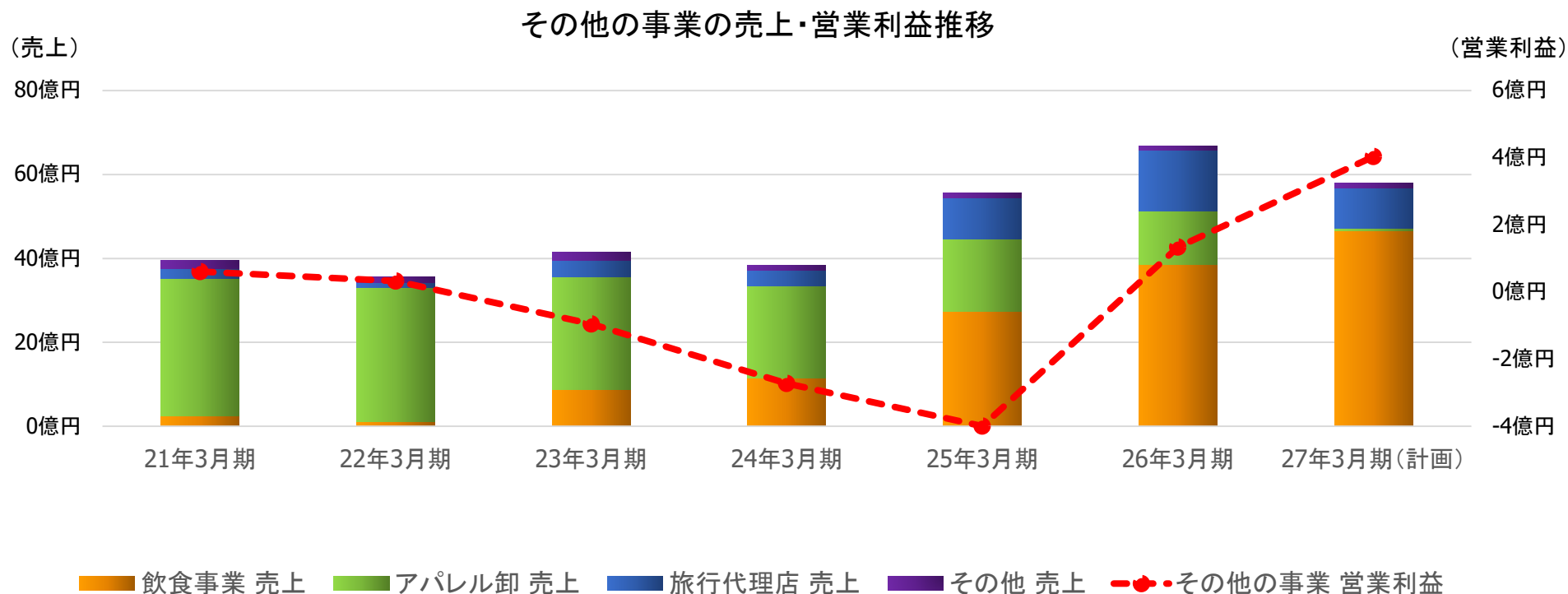
4-12. その他の事業 【Three（5億円） 達成事業】

BELLUNA

その他の事業は、

27年3月期で売上高58.0億円（前期比▲13.3%） 、

営業利益4.0億円（前期比+201.3%）を計画



4-13. 資本コストや株価を意識した経営に向けた対応

BELLUNA

業績の改善、更なる向上

- (1) アパレル・雑貨事業の収益性の改善、専門通販事業の収益性向上
- (2) プロパティ・ホテル事業の更なる収益性の向上

資本効率を意識した経営

- (1) ROE10%以上を意識した経営
- (2) 収益性を期待できない事業からの撤退、縮小
(25/3期実績2部門、26/3期実績2部門、27/3期予定1部門)
- (3) シナジーがあり、将来有望な企業のM&A

株主還元の拡充

- (1) 還元方針の明示
- (2) 安定的で継続的な配当の実施

投資家との対話の拡充

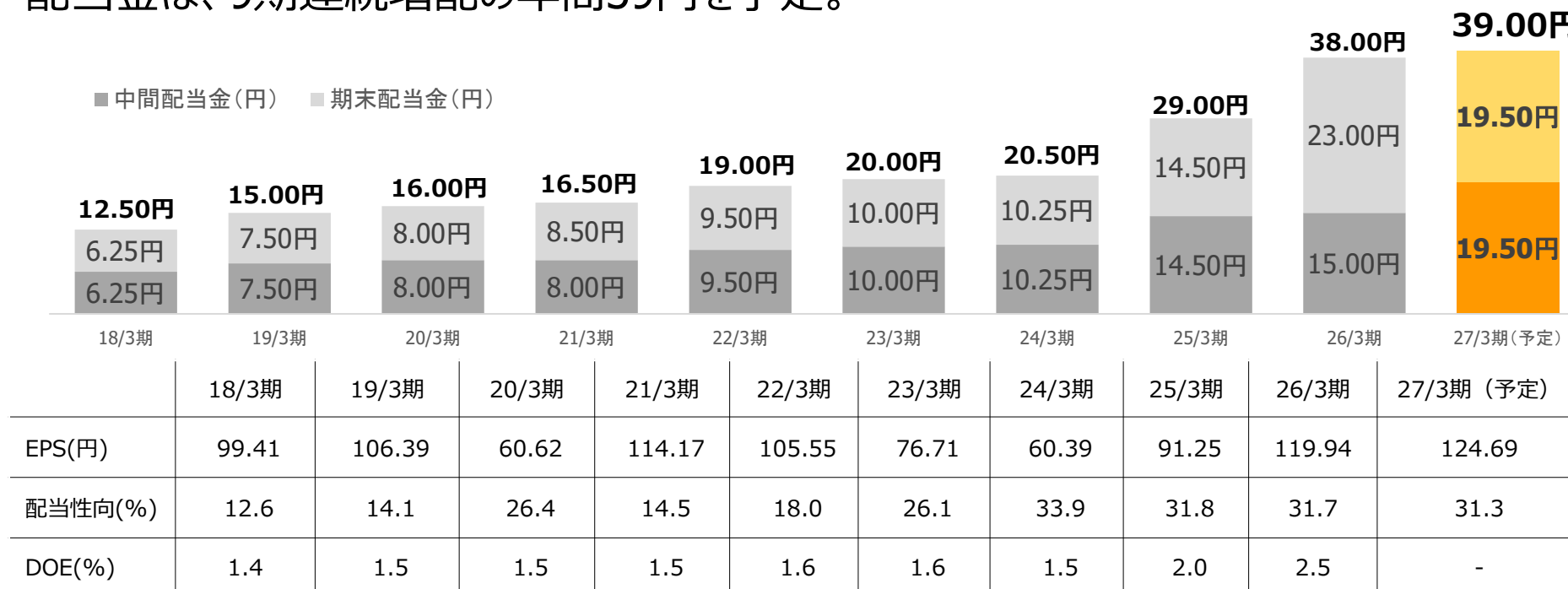
- (1) 中間、期末決算説明会の実施に加え、1Q・3Q決算のアナリスト向け説明会実施
- (2) 事業構造の変化に対する市場理解を深めるための情報開示
- (3) 小売セクター以外の投資家との対話機会の拡充

4-14. 株主還元

<配当状況>

BELLUNA

配当金は、9期連続増配の年間39円を予定。



<株主優待>

[内容]

通信販売優待割引券
またはベルーナネットで使用できる優待ポイント
またはグルメ・ワイン・日本酒商品
ベルーナグループ運営（提携）施設で利用可能な
券面額1,000円の優待割引券

100株以上

1,000円分

2枚
(2,000円分)

500株以上

3,000円分

6枚
(6,000円分)

1,000株以上

5,000円分

10枚
(10,000円分)

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

5. 参考資料

BELLUNA

5-1. ベルーナグループのホテル一覧

ベルーナグループのホテル一覧

BELLUNA

No.	地域	タイプ	施設名	部屋数	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	稼働時期
1	福島	国内リゾート型	裏磐梯レイクリゾート	324													2015年10月
2	長野	国内リゾート型	ルグラン旧軽井沢ホテル	43													2016年7月
3	京都	国内都市型	京都グランベルホテル	105													2017年7月
4	長野	国内リゾート型	ルグラン軽井沢ホテル&リゾート	58													2018年7月
5	スリランカ	海外	ルグラン・ゴールホテル	57													2018年7月
6	モルディブ	海外	ウェスティン・モルディブ ミリアンドゥーリゾート	70													2018年10月
7	ハワイ	海外	エバ・ホテル・ワイキキ	92													2019年3月
8	大阪	国内都市型	梅田ホリックホテル	117													2021年4月
9	大阪	国内都市型	大阪グランベルホテル	191													2021年4月
10	北海道	国内都市型	札幌グランベルホテル狸小路	218													2021年4月
11	北海道	国内リゾート型	定山渓ビューホテル、エグゼクティブスイート翠嶺	630													2021年8月
12	北海道	国内都市型	すすきのグランベルホテル	300													2021年9月
13	スリランカ	海外	コロンボグランベルホテル	292													2022年5月
14	京都	国内都市型	京都グランベルホテル hanareya	13													2022年12月
15	東京	国内都市型	銀座ホテル by グランベル	102													2023年4月
16	北海道	国内リゾート型	洞爺サンパレスリゾート&スパ、ザ・レイクスイート湖の栖	404													2023年4月
17	北海道	国内リゾート型	ニュー阿寒ホテル	370													2023年4月
18	北海道	国内都市型	札幌ホテル by グランベル	605													2025年3月
19	北海道	国内都市型	札幌ファンゲートホテル	141													2025年4月
20	北海道	国内都市型	小樽グランベルホテル	159													2025年7月
21	宮城	国内リゾート型	ホテル瑞鳳、櫻離宮	131													2025年10月
22	宮城	国内リゾート型	秋保グランドホテル	140													2025年10月
23	東京	国内都市型	虎ノ門ホリックホテル	49													2026年4月
24	北海道	国内リゾート型	屈斜路プリンスホテル	208													2026年5月
			計	4,819													

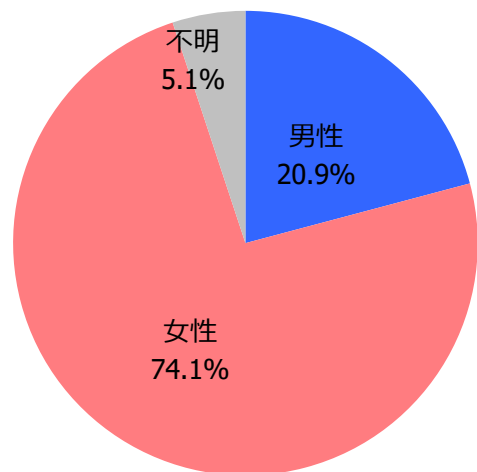
5-2. 総合通販事業 登録会員の特徴

BELLUNA

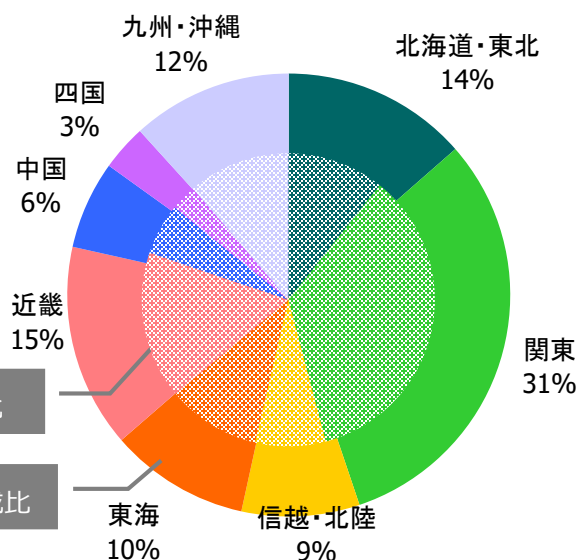
高齢者、地方の買い物困難者の生活インフラとしての役割も担う。

登録会員の特徴（2026年3月末時点）

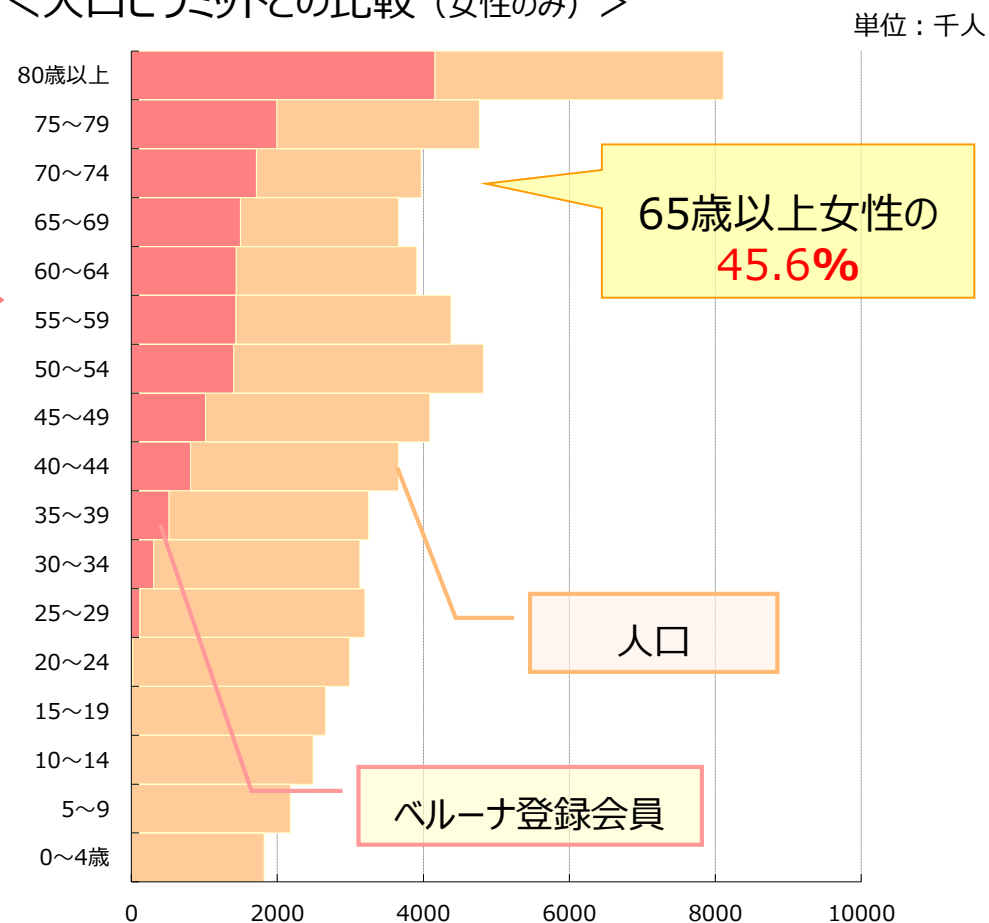
<性別>



<地域>



<人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>



※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

5-3. サステナビリティに関する取組み

BELLUNA

主要実践項目（マテリアリティ）の達成に向けた取組みを強化。ベルーナグループの価値向上に取り組むとともに、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

①

より豊かな衣食住遊を提供し、
買い物難民問題の解決に貢献

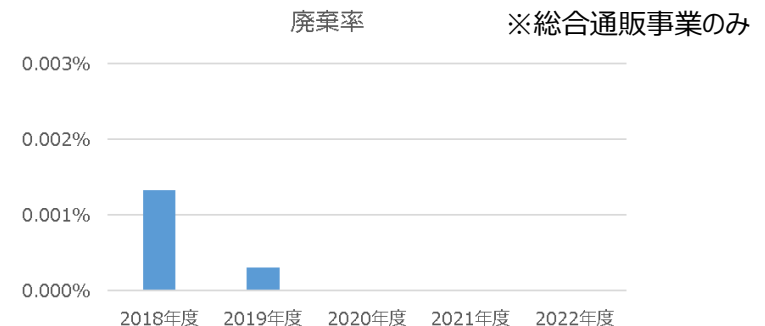
11 住み続けられるまちづくりを

②

商品ロスの削減

12 つくる責任
つかう責任

	人口	ベルーナ登録会員	比率
全国	125.0百万人	29.0百万人	23.2%
過疎地域	9.6百万人	2.9百万人	30.8%



③

カタログ等の紙使用量の削減

12 つくる責任
つかう責任

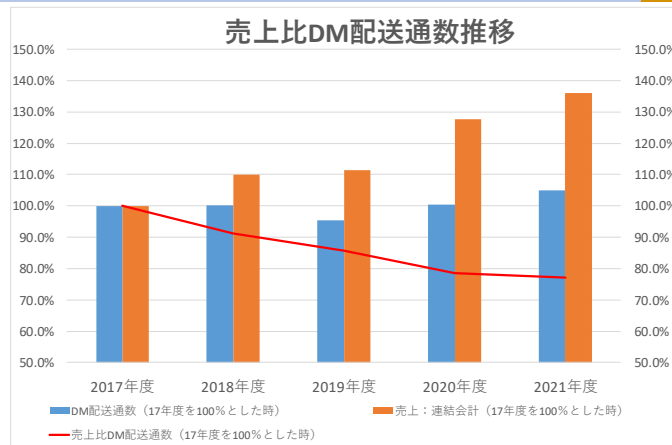
15 陸の豊かさも
守ろう

④

物流センター等のCO2排出量削減

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

13 気候変動に
具体的な対策を



吉見ロジスティクスセンター

5-4. サステナビリティに関する取組み

BELLUNA

主要実践項目（マテリアリティ）の達成に向けた取組みを強化。ベルーナグループの価値向上に取り組むとともに、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

⑤ 従業員の働き方改善



お母さんの職場見学会



物流センター社会科見学会

⑥ オリジナル商品のサステナブル化



⑦ グループ全体でのSDGs貢献意識の醸成



<本資料に関する注意事項>

本資料は、2026年3月期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2026年6月5日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp